



兵庫支部NEWS H16 12月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭(Tel.078-792-6130)

ホームページhttp://www.hi-net.zaq.ne.jp/kono メール:nagoshihideaki@yahoo.co.jp

購読料 12回1,500円(送料込)

購読のお申し込みは郵便振替

振替口座00980-2-245822

口座名:北九州市立大学同窓会兵庫支部

兵庫支部忘年会開催

初参加者3人、総勢29人



平成16年度の兵庫支部忘年会は、12月4日(土)午後6時から神戸ワシントンホテルプラザ2階「三十三間堂」に於いて開催されました。

三宅隆志幹事(59中国)の司会進行で、10分遅れで始まり、13年ぶりに兵庫支部に復帰し、本日の会場をお世話していただいた楢林繁氏(60経済)の紹介があり楢林氏の復帰挨拶の後名越支部長から、忘年会は、年齢の差を越えて語り合い、相互の健康を祝すと共に、一年間の苦勞を慰勞する会との開会の挨拶がありました。インドでボランティア活動をしている高森千賀子さん(44米英)支援について



(歓談中の銭谷、安部、楢林の3氏)説明され、楠本氏の訃報について報告がなされた。

続いて後藤公一副支部長から姫路地区から6人の出席があり頼もしい限りとの挨拶の後乾杯で会が始まった。

三金ゴルフ会の河野旺生氏(36商)から、来春3月に四国高松での一泊ゴルフ旅行の企画について説明があり特に歩こう会メンバーにも参加できるようウォーキング

コースを検討しており、日程について金・土とするか、土・日とするか出席者の意見を聴取された。

歩こう会の二宮会長から一年を総括し、特に先月開催された六甲全山縦走大会にメンバーのうち4名が挑戦するも、完走は4回目の藤田博保氏(35商)のみで二宮、安徳、名越の3氏は途中リタイアの結果となったことが報告された。



(右奥から初参加の松浦氏、高山氏)

今回は、ゲストの4人を含めて総勢29人の参加者となったが、姫路から6人も参加されたことは特筆すべきでしょう。

姫路から参加された人は、後藤公一副支部長(38商)

銭谷勘一郎幹事(39米英)

永翁正臣幹事(41商)

田副忠亮氏(45中国)

真島秀幸氏(48経営)

楢林 繁氏(60経済)



(後藤副支部長(後姿)、三宅幹事、真島氏)

楢林氏の顔で(かつての勤務先)料理も、焼きがに、刺身盛り合わせ、おでんなど盛り沢山で、しかも、九州土産の「伊佐美」が同氏から提供があり、賑やかで楽しい忘年会となりました。

最後に記念写真を撮り、午後8時半に終了し、お決まりの二次会へと繰り出された。いつものスナック・フリージアとスナック・美華の二手に分かれ、夜遅くまでカラオケ、囲碁などを楽しんだ。



(右は今夜の長老鷹野、岩崎大村の3氏)

損害保険・医療保険・がん保険

の総合保険代理店

安心の発信基地

大村保険サービス

代表 大村 実良
(昭和33年商学部卒)

652-0897

神戸市兵庫区駅南通3丁目4-1-302

TEL 078-671-7318 FAX 078-671-8318



《自然木 高級檜造りの家》

増改築・新築・不動産全般

株式会社瀬戸内ホーム

代表 永翁 正臣
(昭和41年 商学部卒)

〒671-1103

姫路市広畑区西夢前台6丁目2番地

Tel. 0792-36-0833

Fax. 0792-36-0905

兵庫支部月例会 11月三金会

11月19日(金)午後6時から「フリージア」にて開催された。

出席者:大村実良(33商)高尾巖(36商)平間正昭(37商)名越英昭(37二宮慶治郎(38米英)吉本富雄(39米英)銭谷勘一郎(39米英)安德(44商)松山仁(44商)川村進(44米英)藤本典樹(50経営)一初参加-隆志(59中国)植林繁(60経済) 合計13名
ゲスト:高森千賀子(44米英)

協議・報告事項

- 忘年会開催の件
 - *案内状送付(支部行事参加経験者に送付)計143名
新聞に同封52名、Eメール47名、Fax13名、☎31名
 - *19日現在 出席10名、欠席6名
三金会出席者による出席連絡14名を加え24名となる
返事未着の人への確認を手分けして電話連絡する。
- 訃報:楠本正孝氏(40米英)11月5日死去
三金ゴルフメンバー中心に有志による香典とする。
尚、12/08有志15名の香典をご霊前にお供えて参りました。奥様から皆様よろしくとのこと。
- 関西支部総会出席の件
11月14日(日)三井アーバンホテルにて開催
堀江淳之顧問が支部長に代わり出席。出席者66名
- 歩こう会11月例会
板宿から妙法寺へ史跡を訪ねてウォーク、参加者10名
- 六甲全山縦走大会歩こう会メンバー参加結果
11/14開催 藤田博保氏(35商)4回目の完歩達成
二宮慶治郎氏(38米英)摩耶山上でリタイ
(昨年1回目は見事完走)
安德信義氏(44商)鶴越駅付近でリタイ
ゲストメンバー:謝さん(3回目)野村さん(10回目)完歩
尚11月23日開催に初参加の名越英昭氏も菊水山でリタイ
- 北九大野球部不祥事に対する山下同窓会会長からのお詫び文書を披露
- 高森千賀子さんよりボランティア活動への兵庫支部からの支援にたいする御礼と活動状況説明

インド・カジュラホで実質的なオーナーとして、小学校を運営されている高森さんに対し、昨年及び今年の高森千賀子さんから、ボランティア活動について説明があり、その活動に感銘した出席者一同からカンパすることになり、集まった支援金14,000円が、大村事務局長から高森さんへ手渡された。なお、現地の児童は貧しい家庭の子供たちで、学用品や衣料品を無償支給しており、インドと衣料品の輸入取引をしている。安德氏が出張のたびに持参する(日本からの送付品は盗難の恐れがある為)という申出あり、皆様のご支援・ご協力をお願いします。



支援品: 1. 5歳~15歳位の男女子供服・ソックス・靴(洗濯済み)
2. 大人用(先生)の衣服類
3. 鉛筆・ノート・消しゴムなどの学用品
送付先: 532-0004大阪市淀川区西宮原2-2-17-305
シャンティ気付 安德信義様あて
電話06-6394-3400

銭谷2段が2回目の優勝

囲碁の会第6次リーグ戦

5月から熱戦を繰り広げた第6次リーグ戦は、11月例会で終結し、8勝2敗の銭谷2段が2回目の優勝を飾り、三金会席上で、インドでボランティア活動をしているゲスト出席の高森千賀子さんから優勝賞金(3,000円)及び会場の「フリージア」のママから副賞を授与された。準優勝は8勝3敗の名越5級が前回に続いて2位となり、賞金(1,500円)獲得した。

12月からは第7次リーグ戦が開始されるが、ゲスト参加されていた大岡一成6段(安德氏友人)がリーグ戦入りされることとなり、会員を鍛えていただくことになった。



また、優勝した銭谷2段は3段に、名越5級は3級として次のリーグ戦に臨む。(優勝賞金を授与される銭谷2段)

これまでの通り、2回戦総当たりとし、置碁の最高は9目(井目までとし、それ以上の段級差については一差6目のハンデをつけることとする。従って6段と6級の対局では井目に12目のコミが与えられる。

第6次リーグ戦成績

優勝	銭谷勘一郎(39米英)2段	8勝2敗
2位	名越英昭(37米英)5級	8勝3敗
3位	平間正昭(37商)2段	7勝4敗
4位	山本信司(37米英)2級	5勝4敗
5位	前原賢作(40商)6級	4勝5敗
6位	安德信義(44商)9級	2勝10敗
7位	河野旺生(36商)6級	1勝6敗

インド便り - 第13回 - 中傷記事その後

高森千賀子(44米英)
9月号にて、インド・カジュラホの地元の新聞に、「インドの貧困をエサにして6百万円もの寄付金を日本で集めて、それを不正流用した」と、私の中傷記事が掲載されたと言った。「続く」としながら続編が遅くなり申し訳ありません。バスで1時間かかる隣の警察のDC(地域管轄警部とも言うか)というかなり上部のオフィサーに新聞社と筆者を告発した。オフィサーは「善処する」と言ったきり、1ヶ月経っても連絡がないので電話すると、「我々には彼らを罰する力はない」と言う。しかし、このまま引き下がる訳にはいかない。私は、不正など全くしていないし、証拠も何もなく勝手にでたらめ話を作り、多くのひどい中傷記事を書かれたのだから。それで、再び「彼らを警察に呼んで、私と会わせてほしい」と要請したが、まともそれっきりだ。

そうこうするうちに、私の腰骨付近に激痛が走り、夜も眠れないほどで七転八倒した。現地の医者は筋肉痛と診断し、私は投薬と注射の治療を受けた。痛み止めと思いついていた注射は単なる造血剤だと判明したし、激痛は続いて一向に回復せず、これはただならぬ病だと、急遽帰国した。

日本の病院で带状疱疹(ヘルペス)だと判った。インドの医者の言った「筋肉痛だから治るまで時間がかかる」はヘルペスも時間がかかるのは同様で、この点では正解だったのだ。診断は違っていたが、医師や看護婦さんから笑われてしまった。やっと治療も終わり、明日(11月30日)にインドへ戻る。前述の新聞記事関しては、今後解決を求めるつもりで、経緯は追って報告します。皆様にはご心配をおかけしました。

六甲全山縦走大会に挑戦

神戸の背後に連なる緑の屏風六甲連山を、西端の須磨浦公園からスタートし、旗振山(253m)横尾山(312m)高取山(320m)菊水山(459m)鍋蓋山(459m)摩耶山(699m)六甲最高峰(931m)水無山(804m)大平山(682m)をアップ・ダウンを繰り返しながら、ゴールの宝塚市内までの約56kmを、朝5時から夜10時までに歩き抜く厳しい山歩きである。

昭和51年から始まり、現在では、毎年11月第2日曜日と23日に開催されており、一日で約2000人の参加者がある。

今年2月から5月にかけて、4回に分けて全縦コースを試走したことは、既に本紙上でご紹介させていただきましたが、いよいよ本番を迎えた。

二宮氏の助言に基づき、出来るだけ早くスタートしようと、自宅から原付で須磨浦公園まで約30分、到着したのは5時10分だったが、受付はもう長い行列が続いていた。結局、受付が終わったのは5時半であった。

ストレッチ体操の後、二宮氏から借用のヘッドランプを取り付けて、急がずマイペースでと自戒しながら上り始めた。一ヶ月前にウォーキングで痛めた右膝もどうやら大丈夫のようだ。

鉢伏山から旗振山を順調に過ぎておらが山につく頃は明るくなり始め、横尾山への400段の階段に向う橋の上で、日の出を迎えた。6時45分だった。

最初の難関、400段の階段では試走時に経験した渋滞もなく、横尾山から須磨アルプスへと向う。時間経過を記録する為、ポイントポイントでデジカメを活用するたびに、後方からの人たちに抜かれる。それだけでなくゆっくりと歩いているので、大分後方に追いやられてしまったかも。

横尾団地を通過して、妙法寺へ到着する頃は、既に8時半持参のおにぎりをばくつき、高取山へと向う。高取山上には9時半ごろに到着。そこから鶴越駅までは殆んど下り坂だが膝を痛めてはと慎重に歩くので、どんどん抜かれる。

鶴越駅前のお店ではこの時ばかりはと家族総出で、牛乳やバナナを売り込んでいた。ここで小休止をとる人も多く、小生も一服。時に10時20分。ここまでが第1回の分割縦走区間が終わり。しかし今日はここからまだまだ続くのだ。

勇を奮い起こして、菊水山へと足を運ぶ。

菊水山登り口までは比較的なだらかな上り坂である。山頂

で900mと表示のある登り口に到着したのが11時15分。ここから山頂まで階段状の急坂が続く。菊水山頂が第1チェックポイントになっており12時20分までに到着しなくてはならない。約1時間あるので楽勝だと思ったが、上り始めると足が思うように上がらない。息切れもしてきた。休み休み登っていたら、「赤鬼」大きく書いたゼッケンを背中に付けた男女二人に追い抜かれた。12時5分であった。

頂上まではもう近いよと声をかけられたが、がっくりである。ともかく第1チェックポイントまではと、やっとの思いで到着したのが12時15分。何とか制限時間には間に合ったが、次のチェックポイント摩耶山上の掬星台まで制限時間内に到着できる自信がない。右膝の不安もあり、ここで思い切ってリタイアすることに決めた。約20km歩いた事になる。

菊水山上では5~60人位が腰を下ろして休んでおり、彼らもリタイア組であろう。昼食をとっていると、「赤鬼」が最後尾の出発だと声を掛けて出かけていった。

30分位休むとまた元気が出てきた。このまま帰路に就くのも心残りである。思いなおして縦走コースを歩くことにし菊水山を下り、有馬街道を渡る天王吊橋を通り、鍋蓋山を登り始めてすぐ左足大腿部が痙攣を起こす。暫く休んでいると何とか回復したので、再び登り始め、山頂に到達。ここで、リタイアの報告を二宮氏に電話する。鍋蓋北道から修法ヶ原池を回り、大竜寺のバス停からバスにて帰路に就いた。

体力不足を痛感した一日であった。 一名越英昭記一

藤田氏は4回目の完歩

二宮・安徳両氏は無念のリタイア

11月14日開催の縦走大会に参加した藤田博保氏(35商)は、今までで一番しんどかったといいながら、4回目の完歩を成し遂げられたが、昨年は何とか完歩された二宮慶治郎氏(38米英)は約30km地点の摩耶山上で、安徳信義氏(44商)は約16km地点の鶴越駅近くで、それぞれ「勇気あるリタイア」をし、来年に期する事になった。なお、歩こう会ゲストメンバーである謝美華さんは3回目、野村さんは10回目の完歩を達成された。

二宮氏談：大竜寺あたりで膝が痛くなり、青鬼から逃げるも市が原から摩耶山に向うところで参加証の返還を求められる。まだやるなら前を歩いてくれと。女の子が一人歩いており、青鬼が親切に誘導、なだめすかしながら摩耶山頂まで誘導、小生もそれに付いて行き、ともかく約30キロ行くも、後を考えるとチェックポイントに定刻に入れないこと明らか、膝の痛みを考えると赤鬼を追い抜くことはとても無理。従ってリタイア決定。膝の痛みの原因を究明して来年挑戦します。

安徳氏談：六甲全山縦走は残念ながら、中途下山を余儀なくされ、高取山を越し菊水に向うポイントで、リタイアのカードを提出しました。原因は普段の不摂生・体重オーバーに尽きると思います。左膝の故障で今朝病院でレントゲンを撮りましたが、ひざの骨の老化現象の指摘を受けました。太腿からひざの筋肉を引っ張る部分が弱くなっているために、皿とそれを囲む骨が影響を受け、摩擦によって磨り減ったためにとげ状になった骨が痛みの原因という事です。完走を公言した手前、途中で棄権したのは返す返すも残念ですが、ここは勇気ある撤退と自己解釈して、チャンスが巡ってきたら、再度チャレンジすることに致しました。歩こう会の皆様を始め激励を戴いた方々にこの場を借りて感謝申し上げます。

歩こう会12月オフ会

城下町尼崎の面影を訪ねて

日時：12月12日(日)午前10時

集合場所：阪神大物駅改札口前(一箇所しかない)

阪神三宮駅9:19(特急)9:41尼崎9:45(普通)9:46大物駅
コース：大物駅→大物主神社→東部第一浄化センター→桜井神社
→尼信博物館→寺町→貴布禰神社→蓬川緑地→蓬川公園
宮内公園→JR尼崎駅(約10キロ)

JR尼崎駅前「あまゆ」で入浴予定。

2005初日の出・初詣

日時：平成17年1月1日午前6時15分

集合場所：山陽電車須磨浦公園駅前

ロープウェイ(片道350円位)で展望台へ、初日の出を拝んだ後、下山して、長田神社で初詣。雨天中止

多数のご参加お待ちしております。

どちらも下記へ問合せ・申し込み願います。

参加申込先：二宮慶治郎 Tel&Fax:078-851-1875

Eメール : ninom406@skyblue.ocn.ne.jp

高尾 巖 Tel&Fax:078-241-8122

北九大は7位 九州学生ラグビー

一次リーグ戦を第2位で通過した北九大ラグビー部は、その後の順位決定トーナメント戦で善戦むなしく第7位の結果に終わった。なお、福岡大が優勝し全国大会に出場する。

順位決定トーナメント戦成績

5-8位決定戦 11/14 北九大 33 - 34 九国大

7-8位決定戦 11/20 北九大 54 - 12 九産大

訃報

楠本正孝氏 40年米英科卒。去る11月5日死去、享年63歳。関西支部副支部長として京都総会開催に尽力、兵庫支部との連携を図るとともに、兵庫支部会員として、三金ゴルフでは4回の優勝を飾り、兵庫支部総会、三金会などにも積極的に参加し、兵庫支部活動に多大な功績を残された。

歩こう会11月例会

板宿から妙法寺へ歴史散歩

11月14日(日)天候曇り、やや肌寒い朝10:20、山陽電車板宿駅集合、参加者10人で直ちに出発。

板宿商店街を通り、北に向って歩く。数10分で禅昌寺に到着。「禅昌寺」は延文年間(1356~60年)月庵禅師(げつあんぜんし)の開山で、神撫山禅昌寺(じんぶやまぜんしょうじ)という。本尊は十一面観音。臨済宗の古刹で、紅葉の名所としても有名で「モミジ寺」の名でも知られているが、今回は4~5分の紅葉の楓1本を除いては、10月の台風の影響による塩害が全て紅葉することなく萎えていた。

左甚五郎の作と伝えられる総門は開門のとき妙音を発すると言われているが判らなかつた。

白壁の築地、緑の竹やぶが、自然の美しさを醸し出している。松尾芭蕉も訪れている。



(禅昌寺)

又以前「すずめのお宿」で名を馳せたが、それは本堂西の開山堂の軒先に多くの瓢箪がぶらさがっていて、そこを雀が巣にしたので、そう呼ばれたが昭和51年に失火で消失した。

禅昌寺に別れを告げ、さらに北へ、妙法寺川沿いに山道を歩くと間もなく車道に出た。車に十分注意しながら歩くと、右手に「萩の寺」の大きな石碑がある。

「萩の寺」は古くは「天台宗光明寺」と言われ、650年前の創建だそうです。今では神戸市唯一の黄檗宗(おうばくしゅう)のお寺である。



(萩の寺正面)

木庵禅師が修行の道場道場を開き、弟子の修行にあたった為禅宗は栄えた。本尊は阿弥陀如来である。境内には十数種の萩が植えられているが、満開は9月である。

「萩の寺」の直ぐ北にあるのが「北向八幡神社」である。この神社の創建は文明16年(1484年)といわれ、名前の由来は小さなお社が北を向いて建てられたからと言われている。

源平合戦の時、源義経はこの地で悪天候の為、一の谷への進路を妨げられた。家来の那須与市(与一)は、この八幡神社を守護神として、戦場に臨み、幸いにして勝利を得た。与市は武運を全うしたお礼の為、再びこの地(妙法寺)を訪れたがたまたま病に罹り、この地で



(北向八幡神社)

亡くなったという伝説がある。毎年10月にお祭りが行われる。

車道を挟んだ反対側に与市の墓がある。ここが「那須神社」である。源平の戦いの折、四国屋島の浦での源平対陣の時、平家方は合戦の勝敗を占う為、一艘の小船の舳先に長竿を立て、扇をくりつけて、源氏方に「これを射よ」と呼びかけた。この時与市は一矢で扇を打ち落とす。これで与市は、一躍有名になった。時に彼は17歳の美青年であった。

一の谷の戦いでは、北向八幡神社にお参りし勝利を得た。戦いの後、いろいろあって武道を捨て、僧となり、法号・禅海宗悟と改めて諸国を回ったが、上記の通り、最後の地・妙法寺で病になり、当墓所の「念仏堂」が病床で村人たちの看病にもかかわらず、薬石効なく、64歳で生涯を終えた。その後村人たちによって、墓が作られ祀られている。



(那須与市公御墓所)

与市の墓所から再び車道を北へ10分程で妙法寺に着いた。京都から福原に都を移した時、新都と称して福原京の鎮守の地として保護したと言われている。



(妙法寺)

その後、幾多の戦火に遭い、時代とともに変わって現在は円蔵院だけとなっている。

須磨区で最も古いお寺とされている。国宝もある。

毎年1月3日に「鬼追い」が古式ゆかしく行われている。

寺を辞し、地下鉄「妙法寺駅」に丁度12時に到着した。ここで解散。

須磨区にはこれ以外多くの史跡がある。来年のNHK大河ドラマは「義経」と聞く。那須与市の有名な「扇の的」、一の谷など多くの見所があるであろう。今から楽しみである。

高尾 巖 (36商) 記

参加者: 河野旺生(36商), 野田彰男(46中国), 長岡豊雄(44米英夫妻, 佐藤研二(H8法律), 高尾巖(36商),

ゲスト: 小谷氏、井上氏、高須氏とお孫さん 合計10名

紙上賀詞交歓をしませんか

1月号には読者の皆様からの新年のメッセージを掲載いたしたいと思います。字数制限無し。

震災10周年を振り返って

来年1月17日で震災後10年を迎えます。あの時を振り返り、皆様の感慨も一入か思います。体験談、その他をご寄稿下さい。字数制限無し

原稿送付先: 名越英昭 Tel & Fax 078-792-6130
Eメール: nagoshihideaki@ybb.ne.jp
654-0143神戸市須磨区菅の台1-1-58

兵庫支部月例会『三金会』会場

毎月第三金曜日午後6時~8時

すなっく

フリージア

神戸市中央区北長狭通2-5-1
タイシンサンセットビル6F
電話078-392-2466



お気軽においで下さい

